

研究制度 評価結果概要一覧

番号	研究制度名	研究主体	研究期間	総事業費	研究制度の概要	研究制度の実施(概算要求)の適否に関する所見	今後検討を要する事項に関する所見	総括評価
1	「知」の集積と活用によるイノベーション創出推進事業(新規・拡充)	民間団体等	令和8年度 ～ 令和12年度	15.4億円	「知」の集積と活用場の産学官連携協議会活動を見える化、知財・事業化等の支援を強化し目的志向型プラットフォームの形成を促すことで同産業の活性化に繋げる取組を行う。具体的には、協議会のデータベース化、伴走支援策の強化、マッチング機会の創出を促進する。	・農林水産・食品分野のイノベーション創出を推進するための重要な取組である。	・売上げではなく、事業価値の向上といった視点で評価できるよう配慮いただきたい。 ・顧客の増加や市場における需要喚起など、社会実装の確度が上がるような支援の仕組みも考慮して進めていただきたい。 ・スタートアップ支援では、他省庁の先行事例を十分に参考にした上で、進めていただきたい。	A

※総括評価は、以下の3段階で評価。  
 A: 研究制度は重要であり、内容は適切。  
 B: 研究制度は重要であるが、制度の仕組み等の内容の見直しが必要。  
 C: 研究制度は不適切又は、内容の抜本的な見直しが必要。